

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)九州産業大学文系新棟建設	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市東区松香台2丁目24番	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	人
地域区分	6地域	年間使用時間	時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 0.0	評価の実施日	2016年7月8日
敷地面積	220,936 m ²	作成者	丹司 真人
建築面積	2,118 m ²	確認日	2016年8月15日
延床面積	191,954 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 2</p> <p>LR1 エネルギー 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.3</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.3</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>将来にわたる計画的な整備、調和のとれたキャンパス景観、学内外へのキャンパス計画の共通理解を目的としている。</p>	<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>Low-eペアガラスを採用し、熱負荷低減に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ゆとりのある階高とし、可動間仕切等によりフレキシビリティに富んだ使用に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>文系校舎として、落ち着いた柔らかな印象を目指した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>こう高率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>雨水を消火及び雑用水として再利用を図った。また、人体への健康や地球環境に配慮した材料を採用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周囲への総合的な配慮を行った。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される